



オールF E T 小形大電流MOS完全対称D A Cバッファプリアンプ

STAXのDAC-TALENTのDACチップの出力をスケルトン抵抗1本でI/Vし、その後につけるアンプという設計になっています。

『MJ無線と実験』誌1995年1月号サイドワインダー参照(私の投稿)。

電源電圧は $\pm 15V \sim \pm 18V$ を想定しています。

当然、出力段のK2201は、ペアを取っています。これはまとめて買えば100円しない素子ですので、50本くらいどーんと買ってもいいのではないのでしょうか。測定方法は、I d s sなんて無いので、このHPのうんちく

のページに書いた、K1297測定のページに記述してある方法がベストです。

ステップ型位相補正を行っています。この定数は、 $f_c = 2.4MHz$ 。2段目の差動は2SJ74-V、-BLなのでOKでしょう。

出力段にあるATTは、ゲインが大きすぎるためです。しかし、これ以上小さくするには、入力レベルを下げなければなりません。